

令和 6 年第 3 回鶴田町議会定例会一般質問通告一覧

(令和 6 年 8 月 2 6 日正午ㄆ切り)

順位	質問者	質問事項	質問の要旨	答弁
1	4 番 瀬戸 弘之	火災で被害を受けた方への対応について	町内で火災が発生した場合、消火後に焼け残った廃材等の処理費用は自己負担で賄っていると聞いております。 火災により生命の危機に見舞われ、財産も失っていることから、町で廃材処理にかかる費用の一部助成があってもよいのではと考えますがいかがでしょうか。 また、焼け出された被災者に対し、町営住宅等の提供はできるものでしょうか。 町の現状と今後の考えをお聞かせください。	町長
2	1 番 長内 勝靖	空き家対策について	適切な管理が行われていない空き家が、防災・衛生・景観等、地域住民の生活環境に影響を及ぼしています。 その空き家に、行政からの指導、命令を出したことがあるのか。 また、「管理不全空き家」や「特定空き家」に指定したところはあるのかお知らせください。	町長
		子育て支援について	人口が減り続けるいま、移住者を増やすためにも、近隣市町村でも行っていない 3 人目から 1 0 0 万円を支給する制度を復活させ、鶴田町の魅力を上げてはどうでしょうか。	町長

順位	質問者	質問事項	質問の要旨	答弁
3	3 番 佐藤 剛	今後の労働力の減少問題と廃校の利活用について	(1) 労働力の減少対策として、外国人技能実習生を受け入れてはどうか。 (2) 廃校の利活用として、旧富士見小を外国人技能実習生の宿泊、研修施設として改装し、活用できないか。	町長
4	6 番 澁谷 正行	「農業経営基盤強化促進法」の改正に伴う地域の農地利用地域計画の作成について	新たな「農業経営基盤強化促進法」では地域の10年先を見据え、地域の話合いに基づいて農地1筆ごとに誰が利用するのか明確に地図を作り、地域計画の作成が必要とされています。 「地域計画」の作成状況について町長に伺います。	町長
5	5 番 一戸 雅人	当町の財政状況について	近年、異常気象における災害等が全国各地で発生している状況ですが、当町においても想定外の災害が起こらないとも限りません。当町におきまして、災害時に対応できる一定の基金の積立金を保つ必要があると思います。 当町の令和4年度の財政調整基金は、県下でも最下位に近い状況にあり、令和5年度の決算状況ではどのくらいになるのか。また、当町の経常収支比率は、近隣町と比べても高い比率と感じていますが、要因としてどのようなことが考えられるのか。 今後の予算編成に向かっては、補助費等を含めた単独事業の見直し、スクラップアンドビルドを行い、最小の経費で最大の効果を上げられるよう創意工夫が必要だと思います。 実現に向かっては、職員はもちろんですが、住民の皆さんの協力が必要ですが、町長の思いをお聞かせください。	町長

順位	質問者	質問事項	質問の要旨	答弁
		今後の町を担う子ども達の子育て環境について	統合小学校が始まり、5年目になりますが、その間新型コロナや学校教育における先生方の働き方改革など、少なからず子ども達の環境に影響することが懸念されます。また、部活動においても先生方からの手が離れ、地域のスポーツクラブ等への移行や外部指導員の協力で成り立っていると思っています。 当町は、県民スポーツ大会では連続優勝、今年度は準優勝とスポーツの町でもあります。これも小中学校からのスポーツに接する環境があるからだと思います。 町としては、部活動指導員の採用や外部指導員、町スポーツ協会への更なる支援が必要でないか。 また、学校運営に関しては、これまでの学校評議員会から学校運営協議会を設置し、地域と学校が連携して、地域とともにある学校づくりを目指しておりますが、小学校の運動会は低学年が午前中、高学年が午後と二部制で行われておりましたが、教育長はどのように感じておりますか。	教育長
6	3 番 工藤 一雄	富士見湖パークのペット禁止について	富士見湖パークはペット禁止となっているが、禁止に至るまでの経緯を聞かせてください。 ペット禁止について、ペット連れ観光客の方々から、どうして「鶴の舞橋はペット禁止なのか」、「ペットを連れて渡れないので、橋を見ないできた」などの声をたくさん聴きました。 わが町も折角お越しいただいた観光客に対してただ禁止するのではなく、積極	町長

			的にペット連れの観光客誘致のための方針に舵を取ったほうが良いのではないのでしょうか。	
7	9 番 小関 優	移住者へのサポート体制について	減少する人口を維持するためには、移住してきた方が他の市町村へ移り住むことなく、定住していただく必要があります。移住者が定住を決断するポイントとして重要なことは、住む場所の確保（貸家等の紹介）や様々な困りごとなどを気軽に相談出来る方がいることだそうです。そこで、我が町の移住者へのサポート体制はどのようなになっているのか、お知らせください。	町長
		中学生大使フッドリバー訪問旅費の個人負担額について	昨年度の中学生大使フッドリバー訪問旅費の個人負担額は、185,000円（335,000円のうち町補助150,000円）で、募集人数20名、参加者は6名でした。 実質賃金が増えていない中、物価上昇などにより個々の生活が圧迫されており、子どもたちが中学生大使として参加しにくい状況となっております。 町の未来を担う人材を育成するため、参加しやすい個人負担額に設定する必要があると思いますが、いかがでしょうか。	教育長
		冬期間の中学校のスクールバス運行について	数年前から冬期間に中学校のスクールバスが運行され、大変喜ばれております。しかし、部活動に参加すると、帰りのスクールバスがないとのことです。子どもたちが部活動に取り組みやすいように、部活動終了後のスクールバスを増便する必要があると思いますが、いかがでしょうか。	教育長